

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日
上場取引所 東

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社
 コード番号 4634 URL <https://schd.toyoinkgroup.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・グループ財務部長 (氏名) 有村 健志 (TEL) 03(3272)6002
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	238,235	1.4	9,131	72.0	9,772	35.1	7,219	△17.6
2022年12月期第3四半期	235,006	11.4	5,309	△45.5	7,235	△35.2	8,758	25.4

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 30,342百万円(48.5%) 2022年12月期第3四半期 20,430百万円(38.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	136.20	136.11
2022年12月期第3四半期	160.09	159.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	443,504	253,811	55.0
2022年12月期	411,177	227,877	53.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 243,906百万円 2022年12月期 219,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2023年12月期	—	45.00	—		
2023年12月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	1.3	12,000	74.8	12,500	58.1	8,000	△14.1	150.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期3Q	58,286,544株	2022年12月期	58,286,544株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年12月期3Q	5,268,691株	2022年12月期	5,298,507株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年12月期3Q	53,006,527株	2022年12月期3Q	54,707,680株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は2023年11月10日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復している一方、物価上昇による消費者の買い控えや、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高止まりもあり、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のなかで当企業グループは、年度方針である「事業の収益力の強化」、「重点開発領域の創出と拡大」、「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,382億35百万円（前年同期比1.4%増）と増収、営業利益は91億31百万円（前年同期比72.0%増）、経常利益は97億72百万円（前年同期比35.1%増）と、それぞれ増益となりました。また、投資有価証券売却益の減少により、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億19百万円（前年同期比17.6%減）と減益になりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりです。

① 色材・機能材関連事業

液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、中国での拡販や台湾でのシェア向上に加え、液晶パネルメーカーでの生産が後半は回復に向かい出荷も増加しました。

プラスチック用着色剤は、国内では消費者の買い控えや住宅着工件数の減少などで容器用や建材フィルム用が低調に推移しましたが、海外で太陽電池用が好調でした。

インクジェットインキは、海外市場での在庫調整の影響がありましたが、後半は回復に向かいました。車載用リチウムイオン電池材料は、米国や欧州での供給を本格化させ販売を伸ばしており、米国と中国では今後の需要増に備えた設備増強を進めております。

これらの結果、当事業全体の売上高は605億39百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は21億9百万円（前年同期比55.4%増）と、増収増益になりました。

② ポリマー・塗加工関連事業

塗工材料は、スマートフォン向けの機能性フィルムが拡販もあり後半から回復傾向となりましたが、液晶パネル向けなどは市況の調整が続き低調に推移しました。

粘着剤は、国内ではラベル用やディスプレイ用が低調でしたが、米国やインド、中国では販売が拡大しました。接着剤は、国内外で包装用が消費の冷え込みで伸び悩みましたが、工業用はリチウムイオン電池向けの拡販もあり海外で好調でした。

缶用塗料は、国内では顧客での稼働が伸び悩み低調に推移し、海外でも漁獲量の低迷などで食缶用が低調でしたが、トルコでの拡販やタイでの現地塗料メーカー買収による事業拡大が進みました。

このほか価格改定の効果もあり、当事業全体の売上高は571億86百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は37億26百万円（前年同期比107.6%増）と、増収増益になりました。

③ パッケージ関連事業

リキッドインキは、国内では、物価上昇による消費者の買い控えで食品用の包装材需要が伸び悩み、顧客での調達難を見据えた在庫積み増しの動きがあった前年同期と比べると減少しました。段ボール用も、猛暑や価格高騰で青果物向けなどの需要が減少し、低調でした。

海外では、インドでは需要が底堅く、販売も堅調に推移しましたが、中国では消費の低迷で食品包装用が低調でした。他方、国内外で原料価格高騰に対する販売価格の改定が進展し、利益改善が進みました。

グラビアのシリンダー製版事業は、包装用は拡販による需要の取り込みもあり堅調でしたが、エレクトロニクス関連の精密製版は低調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は624億31百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は25億75百万円（前年同期比302.0%増）と、増収増益になりました。

④ 印刷・情報関連事業

国内では、情報系印刷市場の構造的な縮小が継続し、チラシや広告、出版向けが低調でしたが、紙器パッケージ向けは拡販による効果もあり堅調でした。なお、エネルギーや原材料のコストが高止まりするなか、同業他社との協業や事業の構造改革によるコストダウンを継続して進める一方、自助努力で吸収不可能な範囲は販売価格の改定も進めさせていただいております。

海外では、中国での不動産市況の悪化や輸出低迷による景気の弱含みもあり販売が低調に推移しましたが、紙器パッケージ向けに機能性を付与したコーティング剤は販売が伸長しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は564億4百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は9億41百万円（前年同期比27.5%増）と、増収増益になりました。

⑤ その他

上記のセグメントに含まれない事業や、東洋インキSCホールディングスなどによる役務提供などを対象にしています。当第3四半期連結累計期間においては、原料販売の増加などにより、売上高は40億86百万円（前年同期比10.3%増）と増収になりましたが、役務提供収益の減少などにより、1億99百万円の営業損失（前年同期は、7億76百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,435億4百万円で、前連結会計年度末残高より323億26百万円増加しました。負債は1,896億92百万円で、前連結会計年度末残高より63億92百万円増加しました。純資産は2,538億11百万円で、前連結会計年度末残高より259億34百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末日の為替レートが前連結会計年度末日の為替レートに比べ円安外貨高に振れたため、海外子会社で保有する資産及び負債、為替換算調整勘定がそれぞれ増加しました。また、海外での新工場建設に伴い有形固定資産が増加しました。さらに、日本国内の株価上昇を反映し、投資有価証券、繰延税金負債、その他有価証券評価差額金がそれぞれ増加しました。一方、棚卸資産の減少に伴い、支払手形及び買掛金は減少しました。なお、一部の長期借入金の返済期限が1年以内になりましたため、短期借入金への振替を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復している一方、物価上昇による消費者の買い控えや、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高止まりが続いており、先行きは不透明な状況にあります。

当企業グループの事業環境におきましては、上半期に液晶パネル市況、エレクトロニクス市況や中国市場の停滞による販売数量の伸び悩みがあり、下半期に回復の傾向となったものの上半期を補うには至らないため、売上高は当初の計画を下回る見込みです。

一方、原材料やエネルギーなどの価格高騰に対し、事業構造改善などによるコスト削減や販売価格の改定が進展し、利益改善は進んでおります。また、円安外貨高に伴い発生した為替差益の影響も加味した結果、利益面では当初の計画を上回る見込みです。

以上により、2023年12月期の通期連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表しました数値から変更しております。

なお、詳細につきましては、本日（2023年11月10日）公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,117	53,471
受取手形及び売掛金	100,390	104,992
有価証券	430	55
商品及び製品	38,494	38,565
仕掛品	1,000	1,327
原材料及び貯蔵品	28,088	26,752
その他	6,881	6,058
貸倒引当金	△1,154	△1,272
流動資産合計	229,247	229,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	113,121	118,797
減価償却累計額	△70,863	△74,455
建物及び構築物(純額)	42,258	44,341
機械装置及び運搬具	165,907	176,118
減価償却累計額	△138,746	△145,432
機械装置及び運搬具(純額)	27,160	30,685
工具、器具及び備品	28,442	29,002
減価償却累計額	△23,092	△23,634
工具、器具及び備品(純額)	5,349	5,368
土地	30,490	30,878
リース資産	6,978	7,968
減価償却累計額	△1,944	△2,476
リース資産(純額)	5,033	5,492
建設仮勘定	12,075	17,272
有形固定資産合計	122,366	134,039
無形固定資産	2,619	5,125
投資その他の資産		
投資有価証券	42,791	61,470
退職給付に係る資産	7,645	7,750
繰延税金資産	2,826	2,911
その他	3,881	2,449
貸倒引当金	△200	△193
投資その他の資産合計	56,944	74,388
固定資産合計	181,930	213,553
資産合計	411,177	443,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,738	67,635
短期借入金	24,022	38,480
未払法人税等	726	1,289
その他	17,975	19,638
流動負債合計	113,463	127,044
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	54,851	40,649
繰延税金負債	6,276	12,567
環境対策引当金	251	244
退職給付に係る負債	1,676	2,002
資産除去債務	33	34
その他	1,746	2,150
固定負債合計	69,836	62,648
負債合計	183,300	189,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,530	32,467
利益剰余金	151,414	153,864
自己株式	△10,687	△10,627
株主資本合計	204,990	207,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,007	18,082
為替換算調整勘定	7,986	17,590
退職給付に係る調整累計額	1,062	795
その他の包括利益累計額合計	14,056	36,468
新株予約権	98	59
非支配株主持分	8,731	9,846
純資産合計	227,877	253,811
負債純資産合計	411,177	443,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	235,006	238,235
売上原価	194,514	191,996
売上総利益	40,491	46,238
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	5,808	5,496
給料及び手当	9,123	9,539
賞与	2,020	1,868
福利厚生費	2,322	2,292
減価償却費	1,382	1,370
研究開発費	2,577	2,730
その他	11,947	13,809
販売費及び一般管理費合計	35,181	37,107
営業利益	5,309	9,131
営業外収益		
受取利息	155	255
受取配当金	973	746
為替差益	2,452	1,519
その他	601	355
営業外収益合計	4,182	2,876
営業外費用		
支払利息	855	1,540
持分法による投資損失	165	20
正味貨幣持高に係る損失	1,007	119
その他	229	554
営業外費用合計	2,257	2,234
経常利益	7,235	9,772
特別利益		
固定資産売却益	18	137
投資有価証券売却益	5,534	1,767
特別利益合計	5,553	1,905
特別損失		
固定資産除売却損	257	201
投資有価証券売却損	-	297
事業構造改善費用	-	534
操業停止費用	225	-
その他	134	200
特別損失合計	618	1,234
税金等調整前四半期純利益	12,170	10,443
法人税、住民税及び事業税	3,639	2,732
法人税等調整額	△300	450
法人税等合計	3,338	3,183
四半期純利益	8,831	7,260
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,758	7,219

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	8,831	7,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,425	13,075
為替換算調整勘定	15,050	9,704
退職給付に係る調整額	△340	△267
持分法適用会社に対する持分相当額	315	568
その他の包括利益合計	11,598	23,081
四半期包括利益	20,430	30,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,261	29,631
非支配株主に係る四半期包括利益	1,168	710

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	58,086	56,460	61,481	55,748	231,776	3,229	235,006	—	235,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	938	296	666	2	1,903	474	2,378	△2,378	—
計	59,025	56,756	62,148	55,750	233,680	3,704	237,384	△2,378	235,006
セグメント利益	1,357	1,794	640	737	4,531	776	5,307	2	5,309

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	59,477	57,063	61,916	56,384	234,841	3,393	238,235	—	238,235
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,062	123	515	20	1,721	692	2,414	△2,414	—
計	60,539	57,186	62,431	56,404	236,563	4,086	240,649	△2,414	238,235
セグメント利益又は 損失(△)	2,109	3,726	2,575	941	9,352	△199	9,153	△22	9,131

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△22百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計			
減損損失	356	—	—	—	356	—	—	356

(注) 「色材・機能材関連事業」に係る減損損失356百万円は四半期連結損益計算書上、「事業構造改善費用」に含まれております。